

若狭ネット

第101号 2006年10月25日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！」

げんぱつ」連絡会（〒915-0235 越前市不老町6-36 山崎方 TEL0778-42-3630） 大阪：日高原発に
反対する大阪の会（〒583-0005 藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660）

ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

10・26反原子力デー

秋の闘いに向け、反原発学習会

10月28日（土）午後1時半～4時

場所：東淀川勤労者センター（JR線、地下鉄御堂筋線 新大阪駅 徒歩10分）

内容：(1)教育現場から「教育基本法改悪と原子力推進教育」を考える
(2)原子力予算概算要求に見る安倍政権の「原子力立国計画」と
ブッシュGNEP構想への負担



（2006年10月17日関電への申し入れ）

10月17日（火）午後6時から、関電との交渉をおこないました。この交渉で、「美浜3号の年内運転再開を断念した」という新聞記事について問いただしました。記事の内容は、「遺族の強い不信感に配慮したものである」という趣旨で書かれていましたが、関電広報部は、「私どもは、そんなことを言ったことは一切ない」ときっぱり否定し、検査が終了した時点で営業運転を再開したいのだ」と開き直りました。しかし、23日、来年1月中旬に営業運転する」と関電は、発表しました。これで、遺族の気持ちを配慮したというのでしょうか。

今後もこの問題を追及していきます。

安倍新体制は、「教育基本法」改悪を目論

み、動いています。「原子力立国計画」を国家エネルギー戦略に掲げ、原子力推進教育を学校教育の現場へ一層露骨に持ち込もうとしています。教育基本法が改悪されれば、原子力推進教育など、時の政権の求める「教育」が公然と「法」の名の下に学校教育へ持ち込まれる恐れがあります。

また、来年度の原子力関連予算概算要求では、今年度より9.4%増の約5千億円と飛躍的に伸びています。自ら作り上げた財政危機の下で、社会福祉を切り捨てて、原子力立国計画のための予算を「聖域」として増やそうというのです。米ブッシュ政権の独りよがりなGNEP構想に協力し、高速増殖炉・新再処理計画を推し進めようとしています。これは巨額の浪費を招き、重大事故の危険を高めます。

10月28日には「秋の闘い、反原発学習会」を企画しました。いろいろな方から教育現場の実態を話して頂き、教育基本法改悪、原子力推進教育はどうなるのか、また、原子力予算概算要求に現れた原子力立国計画の危険な動きを議論したいと思います。

ぜひ、ご参加下さい。

今後の予定

10月28日(土)午後1時半～4時

秋の闘いに向け、反原発学習会

場所 東淀川勤労者センター

(JR線、地下鉄御堂筋線 新大阪駅 徒歩10分)

内容:

- (1)教育現場から「教育基本法改悪と原子力推進教育」を考える
- (2)原子力予算概算要求に見る安倍政権の「原子力立国計画」とブッシュGNEP構想への負担、



11月 5日(日)

ウラン兵器禁止を求める国際共同行動デー

街頭署名 正午～午後1時半

場所 梅田 (JR大阪駅北側、陸橋上に集合)

連帯集会 午後2時半～5時

場所 東淀川勤労者センター

11月19日(日)午後2時～4時半

化学物質による汚染 - 環境省の態度はおかしい!

場所: 荻田土地改良記念会館 (地下鉄我孫子下車5分)

編集後記

- 10月13日の新耐震指針の交渉もみなさんの絶大な支援で、乗りきることができました。公開質問状への賛同団体・個人は78団体193個人に達しました。賛同カンパも15万6千円と集まりました。地震と原発問題について全国的な関心の高さを改めて思いました。地震列島「日本」では、原発を建てるのがそもそも間違っていたのです。原発の周辺だけは、大きな地震(原発が耐えられない規模)は起こりませんなどと、たれもはっきりとは断言できないことなのですから、新耐震指針では、十分に地震動の大きさを予想をしましたが、実際は想定外の大きな地震が起こりました。大きな被害が起こったら、みんなでその被害をあまんじて受け入れましょう」と言っているのですから、あきれざるばかりです。
- 今まで、反原発で闘ってこられた人たちの訃報を聞いて、ショックを受けています。敦賀の増田さん、愛媛の斎間満さん(10月17日午前、逝去)がお亡くなりになりました。10月13日政府交渉の公開質問状の共同提出賛同者になって頂いていました。亡くなられる間際までご指示頂きました。本当に残念でなりません。 きよ子